



第6回学校部活動の地域連携・地域移行協議会を実施しました！（12月8日）

今回の協議会では、10月に市内各小・中学校に依頼したアンケート調査の結果を踏まえ、来年度以降の地域展開のガイドラインの方向性について協議しました。

アンケートの対象は次のとおりです。

- 1 中学校 第1・2学年生徒
- 2 中学校 教員（今年度部活動の顧問を担っている教員）
- 3 小学校 第5・6学年児童

アンケート結果は、右の二次元コードから閲覧可能ですので、ぜひご参照ください。



中学校 第1・2学年生徒対象アンケートを基にした協議（小委員会1）

アンケートの結果を踏まえ、少人数で活動している部活動をどのように地域展開していくか、競技志向の生徒がいる一方、楽しく運動をしたい生徒もいる現状であるため、多様なニーズに合った部活動をどのように設置し、地域展開していくのか、といったことが今後の課題であるとの意見をいただきました。また、平日と休日で異なる種目や競技等に参加している生徒への対応について、今後検討を重ねていく必要があるといった意見も出されました。

教員向けアンケートを基にした協議（小委員会2）

アンケートの回答件数は95件であり、中学校教員の1/3程度からの回答がありました。部活動の顧問をしている教員の方が、今後の地域展開に向けて懸念していることとして、「生徒指導に関すること」が多くありました。このことから、休日の地域展開における指導において、生徒指導に関することをどこまで地域の指導者に求めるのかを、ガイドラインで明確にしていくことが大切であるといった意見をいただきました。

小学校 第5・6学年児童対象アンケートを基にした協議（小委員会3）

約9割の児童が、中学校の部活動に関心を示しており、その関心を不安の解消と仲間づくりの機会として生かすことが重要との意見が出されました。また、活動中における生徒同士の喧嘩やいじめ、指導者による不適切行為等に関して、地域の指導者と学校側での連携が重要になってくるため、情報共有のための体制強化が必要との意見や、指導者の質の向上と配慮も重要な課題として挙げられました。

NEWSLETTER バックナンバー

市教育委員会では、部活動協議会の様子を周知するため、学校部活動「NEWSLETTER」を作成しています。以前のものは、右の二次元コードから閲覧可能です。

